

今号は原書論文が1編、その他の論文が1編と、論文の数は少ないですが、本学鍼灸学部の先生方が中心となって開催された「GUNTM 国際シンポジウム in 京都」の報告を含む3編の記事があることから、内容が多い号に仕上がっていると思います。

記事にあります全学横断的シンポジウムは、2011年度より学内の研究活性化を目的に、年度ごとに1つのテーマに絞り、実施されています。これまでに「運動器系の研究」と「痛みの基礎と臨床」のテーマで行われ、記事にあります昨年度は「地域連携」のテーマで行われました。本学は他の多くの大学に比し、学部は少ないですが、多くの分野の研究者が所属していることが魅力の一つであると考えています。そのため学内で助言、協力し合うことでより良い研究にするというアイデアが基となってこのようなシンポジウムが行われていると認識しています。その様な点から、他の記事である学内助成成果報告書を見ましても、バラエティーに富む研究が本学ではなされていることが良く分かります。今後とも大学誌としまして、このようなシンポジウムや成果報告を発信していくことで、学内研究の発展に寄与できればと考えております。

最後になりますが、ご投稿いただいた著者の皆様、お忙しい中査読いただいた先生方、編集いただいた編集委員会委員の方々に感謝の意を表します。

明治国際医療大学誌編集委員会  
副委員長 林 知也